

福岡大学病院

研修医 児島 加奈子 2017年12月

福岡大学病院の地域医療研修プログラムで12月の1か月間お世話になりました、研修医2年目の児島加奈子と申します。今回、出水総合医療センターを中心に、高尾野診療所・野田診療所・上場診療所・出水保健センターで研修をさせて頂き、大変お世話になりました。関係者の皆様には、この場を借りて御礼申し上げます。

私は出水市出身で、地域医療の研修先として出水総合医療センターがあると知ったときからこちらに研修しに来ることを楽しみにしていました。高校のころから実家を離れて一人暮らしをしていたので、10年ぶりに実家で過ごしながらか研修をすることができ、そういった意味でも有意義な1か月になりました。

私は大学病院で研修しているので、市中病院や診療所での研修は新鮮でした。高尾野診療所では、初めての外来ではありましたが、common diseaseの外来フォローや増悪時の対応などを経験することができました。野田診療所では、超音波検査や内視鏡など、数々の手技を学ぶことができ、往診にも同行させていただきました。上場診療所では、十分な検査機器も処方薬もなく、まさにへき地医療と言える現場を目の当たりにし、問診や身体所見の大切さを再確認しました。住んでいる場所や交通手段などによって、医療を満足に受けることのできない方たちがいる地方特有の問題にも配慮した医療の一端を担っているのだと感じました。院内研修では、小児科研修を中心に、医療安全管理・地域医療連携・臨床工学・看護・薬剤・臨床検査・リハビリテーションなどの講義や体験をさせていただきました。他職種の実習を行うのは、学生の時以来であり、なかなか体験することができないことが数多くあり、実際の現場を知る大変貴重な機会になりました。また、大学病院にいと、多くの専門科が存在するため、専門外のことはコンサルトや検査オーダーし、実際の検査はお任せするということが殆どになります。今回の地域医療では、様々な疾患に対応し、検査も自ら行うという理想的ですがなかなか難しい医療を見ることができたように思います。数か月後には研修医が終わり、専門分野に進んでいきますが、私も得意不得意に左右されないよう、積極的に多くのことを学んでいかななくてはならないと感じました。

最後に、大変お忙しい中、丁寧に指導してくださった皆様に重ねて御礼申し上げます。今までの研修では学べなかったことを、短い間ではありましたが数多く経験することができ、大変貴重な1か月を過ごすことができました。この1か月間で学んだことを今後の医師としての人生に生かしていきたいと思っております。